



日本航空公司高雄營業處 函

地址：高雄市 812 中山四路 2 號

電話：07-807-1724

承辦人：日本航空總務部 劉麗珉

受文者：如收件單位

發文日期：中華民國 109 年 2 月 3 日

發文字號：日航高外發(109)字第 003 號

附件：預定行程表、報名表、聯合國發表之 17 個永續發展目標中文及日文資料

主旨：謹送「2020 年 JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM」甄選大學生赴日參加研習活動報名表格式(如附件)，敬請 惠允推薦優秀學生參加甄選。

說明：

一、活動宗旨：增進亞洲及大洋洲各國學習日語之大學生對日本的深入了解，促進國際文化交流，期許能成為中日文化交流之橋樑，並積極分享所學，對社會有所貢獻。

* 請注意：茲因新型冠狀病毒疫情影響，各大專院校延後開學，故赴日研修時間有可能與台灣地區各校之期末考期間重疊，懇請參加同學自行斟酌情況並祈踴躍報名參加。

二、主辦單位：公益財團法人 JAL 財團

三、協辦單位：日本航空公司

四、赴日期間：2020 年 06 月 22 日(一)至 07 月 13 日(一)共 22 日
(如遇特殊狀況，將更改日期，敬請諒解)

五、台灣南部地區甄選人數：1 名

六、參加資格：

- (一)彰化以南(彰化縣市、雲林縣、嘉義縣市、台南市、高雄市、屏東縣市、台東縣市)對日本有興趣之大學、研究所在學學生(2020 年參加研修時仍具在學資格者為限)。
- (二)20 歲以上、25 歲以下、中華民國國籍(本人與其雙親均為不以日語為母語者)、品行良好、身體健康、積極進取、有團隊精神、日語能力檢定 2 級以上合格者(含 2 級合格者)。

七、注意事項：

- (一)獲選同學赴日研修時，須搭乘主辦單位指定之航空公司班機。如因個人因素，希望更改赴日及歸國日期、班機，概不受理。
- (二)赴日研修前，會由主辦單位提出事前課題檢討、及赴日研修結束後之心得報告，參加同學須於主辦單位限定之期間內繳交。

- (三) 獲選同學赴日研修時，須全程參加研修行程，且積極參與活動，嚴守紀律。研修歸國後，能活用所知，貢獻所學。

八、報名辦法：

- (一)參加同學提出以 600 字稿紙 2 張繕寫整齊的 1200 字以內之日文小論文
(限定以日文書寫)

題目：以下述主題所引申之 3 個子題目中，任選其一發揮。

SDGs ～持続可能な社会へ～

持続可能な社会を目指して。考えよう、今の社会のために、そして将来世代のために私たちができること。

- ① 世界環境を海から見よう。
- ② みんなで楽しみながら SDGs を拡げて行こう。
- ③ 環境について考えよう。将来世代のために今私達にできること。

(請就上列之①②③中擇一做為論文主題，將自己的想法具體表達出來，請勿引用書籍或網路上之內容。)

説明: SDGs →2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され，地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。

17 のゴールの説明について以下の URL をご参考ください。

http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15760/

聯合國發表之 17 個永續發展目標，請參考以上網址及附加之中文、日文資料。

- (二)參加同學填妥報名表後，附上日語能力檢定 2 級以上合格證書影本及日文小論文，以郵寄方式寄至：

(812)高雄市小港區中山四路 2 號/日本航空高雄營業處總務部/劉麗珉

九、報名截止日期：2020 年 03 月 17(星期二)截止收件，郵戳為憑。

一律以學校為單位，每校推薦名額(含研究所)最多合計 3 名。

十、評選方式：第一次書面審查合格者，將個別通知參加面試。

十一、面試日期：2020 年 03 月 24 日(星期二)9:30 開始

(時間如有更動將另行通知)

面試地點：高雄市小港區中山四路 2 號/日本航空公司 高雄營業處

十二、公佈日期：2020 年 03 月 31 日(星期二)之前將個別通知。

十三、經費：赴日之機票及期間之住宿、餐飲、交通費用及海外旅行平安保險等(不包括私人花費)，均由主辦單位負擔。

正本：國立成功大學、國立中山大學、國立中正大學、國立高雄師範大學、
國立彰化師範大學、國立嘉義大學、國立高雄大學、國立雲林科技大學、
國立屏東科技大學、國立高雄科技大學、國立台東大學、國立虎尾科技大學、
國立台南藝術大學、國立台南大學、國立屏東大學、國立高雄餐旅大學、
私立大葉大學、私立義守大學、私立高雄醫學大學、私立南華大學、
私立南台科技大學、私立崑山科技大學、私立嘉南藥理大學、
私立樹德科技大學、私立輔英科技大學、私立長榮大學、私立正修科技大學、
私立建國科技大學、台灣首府大學、私立台南應用科技大學、
私立高苑科技大學、私立實踐大學、私立文藻外語大學、私立遠東科技大學、
私立大仁科技大學、私立中華醫事科技大學、私立和春技術學院、
私立中州科技大學、私立環球科技大學、私立吳鳳科技大學、
私立美和科技大學、私立稻江科技暨管理學院、私立明道大學、
私立南榮科技大學、私立東方設計大學、私立大同技術學院、
國立台南護理專科學校、國立台東專科學校、私立樹人醫護管理專科學校、
私立慈惠醫護管理專科學校、私立敏惠醫護管理專科學校、
私立育英醫護管理專科學校、私立崇仁醫護管理專科學校、
私立中信金融管理學院

高雄地區代表 吳國安



2020JALスカラシッププログラム 日程表 (案)

DATE	日付	曜日	プログラム内容 (内容調整中・変更となる場合があります)	宿泊先
1	6月22日	月	各地区より成田・羽田到着後 NRT JL3057 NRT18:55発 -FUK21:15着 宿舎 Global Arena23:00頃着。	宗像市内
2	6月23日	火	午前：オリエンテーション (日程・注意事項説明、自己紹介等) 午後：宗像大社参拝体験 神宝館拝観 夜： 歓迎懇親会	宗像市内
3	6月24日	水	午前：海の道むなかた館 見学 九州大学学生 ながさき海援隊 合流 基調講演「SDGsを北東アジアの海の交差点の宗像で考える」(仮題) 九州大学清野 聡子 准教授 午後： さつきの松原海岸 ICC調査 海岸清掃 ながさき海援隊 夜： 歓迎会	宗像市内
4	6月25日	木	午前： ICC調査分析結果報告 ながさき海援隊 パネルディスカッション「宗像の漁業」について (仮題) 午後： 竹魚礁作成 福岡水産高校にて 夜： 宗像市国際育成プログラム	宗像市内
5	6月26日	金	午前：九州大学学生と 福岡市内グループ行動 午後：東京へ移動 JL318 (福岡15:00発→羽田16:30着) 夕食：東京地区日本人学生との顔合わせ会・懇親会	東京都内
6	6月27日	土	石川県白山市プログラム① (案) 羽田空港→小松空港 JL185便 (羽田09:25発=小松10:25着) 着後：千代女の里俳句館ハイク創作→白山比咩神社→KIT/ICT白山麓キャンパス	白山市内
7	6月28日	日	石川県白山市プログラム② (案) 白山市	白山市内
8	6月29日	月	石川県白山市プログラム③ (案) 午前：白山市山田市長表敬 (白山麓キャンパスにて) 午後：尾口のでくまし体験 白峰村訪問等フィールドワーク	白山市内
9	6月30日	火	金沢工業大学プログラム 基調講演「 」 SDGsカードゲームクローズ	金沢市内
10	7月1日	水	金沢工業大学プログラム フィールドワーク等	金沢市内
11	7月2日	木	金沢工業大学プログラム SDGsゲーム作成	金沢市内
12	7月3日	金	金沢工業大学プログラム 発表に向けたグループワーク	金沢市内
13	7月4日	土	金沢工業大学プログラム 発表会 金沢工業大学生とのお別れの会	金沢市内
14	7月5日	日	午前：JL186便 (小松11:20発 羽田12:30着) にて東京へ 午後：①JALスカイミュージアム ②日本航空安全啓発センター	東京都内
15	7月6日	月	午前：(移動) 東京からつくばエクスプレス経由 つくば市内 午前：TOKYO2020オリンピック聖火リレーランナーの応援 午後：国立環境研究所、もしくはJAXA筑波宇宙センター見学	東京都内
16	7月7日	火	東京基調講演「CONTRAILプロジェクトから見えてくもの」(仮題・調整中) 午前東京フィールドワーク 夜：	東京都内
17	7月8日	水	東日本鉄道文化財団プログラム	東京都内
18	7月9日	木	グループ討議またはフィールドワーク (終日可)	東京都内
19	7月10日	金	午前：公開シンポジウム準備 (グループ討議・資料作成) 午後：公開シンポジウムリハーサル (必要に応じて資料作成継続) 夕刻：発表資料作成	東京都内
20	7月11日	土	①JALスカラシッププログラム「公開シンポジウム」(ウイングホール、13:00~16:30) ②海外学生はホストファミリー宅へ	東京地区ホストファミリー宅
21	7月12日	日	東京地区ホームステイ 夕：修了式・フェアウェルパーティ	成田・都内
22	7月13日	月	帰国	



国際連合広報センター
United Nations Information Centre

持続可能な開発サミット: 人々と地球のために、私たちの世界を転換させよう (2015年9月25-27日) 概要

プレスリリース 15-082-J 2015年09月17日

誰も置き去りにしない、新たな持続可能な開発アジェンダ

9月25日から27日にかけて、ニューヨークの国連本部で開催される「国連持続可能な開発サミット」には、161の加盟国の首脳が出席し、新たな野心的な持続可能な開発アジェンダを採択することになっています。この重要なアジェンダは、国際社会と各国政府が、今後15年間の繁栄と福祉の共有を促進するための出発点となるものです。



潘基文 (バン・ギムン) 国連事務総長は8月2日、サミットの成果文書に関する加盟国のコンセンサスができたことを受け、今回の合意が「私たちの世界にとって歴史的な転換点が訪れたことを告げる普遍的、画期的かつ統合的なアジェンダを含んでいる」ことを明らかにしました。

「これは『人民のアジェンダ』であり、あらゆる場所のあらゆる次元で貧困に終止符を打ち、誰も置き去りにしないための行動計画となります」事務総長はこのように述べています。

193の国連加盟国が合意したアジェンダ案「Transforming Our World: 2030 Agenda for Sustainable Development (私たちの世界を転換する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ)」は、宣言、17の持続可能な開発目標と169項目のターゲット、実施手段と新たなグローバル・パートナーシップに関するセクション、および、再検討とフォローアップの枠組みから構成されています。

このアジェンダは、貧しい国、豊かな国、中所得国を含め、あらゆる国々の行動を求め、独創性に富むものです。また、貧困に終止符を打つためには、経済成長を實現し、教育や保健、社会保障、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズに対応する一方で、気候変動や環境保護にも取り組む計画が必要だという認識を示しています。さらに、不平等やインフラ、エネルギー、消費、生物多様性、海洋、産業化といった問題も取り扱っています。

この新しい持続可能な開発アジェンダは、エチオピアのアディスアベバで最近開催された「開発資金会議」の成果を土台としています。また、今年12月にパリで行われる新たな有意義かつ普遍的な気候協定に関する交渉にも好影響を与えることが期待されています。

人々と地球のためのグローバルな行動に向けた政府間協議プロセス

史上最大の成功を収めた貧困対策運動のきっかけとなった「ミレニアム開発目標 (MDGs)」は、世界のリーダーが9月、採択する新たな持続可能な開発アジェンダのたたき台となっています。

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議 (地球サミット)」以来、世界は人間の福祉を實現する新たな経路として、持続可能な開発の道を歩むことを明らかにしました。「アジェンダ21」で提示された持続可能な開発という理念は、経済開発と、人々のニーズを充足し、環境を守る成長とのバランスをとらなければならないことを認識するものでした。

新たな持続可能な開発アジェンダは、2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」の成果、2010年の「MDGsサミット」、2012年の「国連持続可能な開発会議 (リオ+20)」の成果、および、全世界の人々が示した見解を基に策定されています。

各国はMDGsの成功を認識し、リオ+20の成果文書「私たちが望む世界」の中で、一連の持続可能な開発目標を策定し、検討と適切な行動を仰ぐためのオープン・ワーキング・グループの設置に合意しました。

オープン・ワーキング・グループは1年以上に及び包括的かつ集中的な協議の末、17の具体的な目標と、これに関連する169項目のターゲットを提案しました。

2年以上にわたりに行われた目標の内容に関する政府間交渉には、市民社会その他のステークホルダーからも数多くの意見が寄せられました。包括的で透明性のある協議の結果、8月2日には、新たな持続可能な開発アジェンダに関する成果文書についてコンセンサスが成立しました。

この新しいアジェンダは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で、世界のリーダーが正式に採択することになります。

持続可能な開発目標

- 目標1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 目標2 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- 目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

- 目標4 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 目標6 すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 目標7 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
- 目標9 レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
- 目標10 国内および国家間の不平等を是正する
- 目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- 目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 目標13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 目標14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 目標16 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 目標17 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

* * * * *

関連リンク: [持続可能な開発目標ファクトシートはこちらをご覧ください。](#)

Copyright © UNIC, All Rights Reserved.

永續發展目標

- 目標 1. 消除各地一切形式的貧窮
- 目標 2. 消除飢餓，達成糧食安全，改善營養及促進永續農業
- 目標 3. 確保健康及促進各年齡層的福祉
- 目標 4. 確保有教無類、公平以及高品質的教育，及提倡終身學習
- 目標 5. 實現性別平等，並賦予婦女權力
- 目標 6. 確保所有人都能享有水及衛生及其永續管理
- 目標 7. 確保所有的人都可取得負擔得起、可靠的、永續的，及現代的能源
- 目標 8. 促進包容且永續的經濟成長，達到全面且有生產力的就業，讓每一個人都有一份好工作
- 目標 9. 建立具有韌性的基礎建設，促進包容且永續的工業，並加速創新
- 目標 10. 減少國內及國家間不平等
- 目標 11. 促使城市與人類居住具包容、安全、韌性及永續性
- 目標 12. 確保永續消費及生產模式
- 目標 13. 採取緊急措施以因應氣候變遷及其影響
- 目標 14. 保育及永續利用海洋與海洋資源，以確保永續發展
- 目標 15. 保護、維護及促進領地生態系統的永續使用，永續的管理森林，對抗沙漠化，終止及逆轉土地劣化，並遏止生物多樣性的喪失
- 目標 16. 促進和平且包容的社會，以落實永續發展；提供司法管道給所有人；在所有階層建立有效的、負責的且包容的制度
- 目標 17. 強化永續發展執行方法及活化永續發展全球夥伴關係